

# 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動名	天霧山・二反地川・瀬戸内海・弘田川・さぬき富士・五岳山ビューポイント創出活動	
活動団体名	舟岡山未来プロジェクト活動組織	
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50年前の舟岡山頂上(仲多度郡多度津町)からの360度パノラマを取り戻すこと。</li> <li>・頂上への路網を作ること。(軽車両の通行ができる道、災害時の避難の道、散歩みち)</li> <li>・登頂しやすい、陽のさす明るい森にし、こどもたちの森林体験の場の創出。(昔の里山としてのこどもたちの遊び場を目指しています。ただし、公園化は考えていません。)</li> <li>・生物多様性に果たす里山の二次的な自然環境の役割を考え、里山の手入れを継承するシステムを考える。関係人口を増やす。活動組織の保全技術を高揚する。</li> </ul>	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頂上からの200度パノラマは確保。急傾斜地の密集藪林地を伐採中です。継続・反復</li> <li>・路網距離は120mあります。ようやく、60mはできました。これからです。幅3m。</li> <li>・地主個人の下草刈 &amp; 活動組織+応援者による集団活動は1~2回/月。(18回)</li> <li>・竹林内での子ども秘密基地作り活動に共同。(2回)</li> <li>・植生のモニタリング。成果までの参加者のプロセスを大切にし、参加者各自の視点を大切にする体制の構築をつくります。</li> <li>・活動の様子、課題、成果を発信し、多様な地域課題を共有します。</li> </ul>	
活動写真		
写真説明	NHK 報道里山整備拠点に空き家を活用	老木を伐倒→頂上の丸太ベンチにしました。
活動効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職域の異なるメンバーですので、各自の持つ特技を活かせる組織になりつつあります。</li> <li>・関係人口として参加して下さる方々は、30歳代の方が多いです。作業しながら話し合い、社会課題を共有しています。下記の①②③④活動・拠点整備により、今後の当地の味を発見したいと考え始めています。里山活動を通じて複眼的な自己評価をする力が育ち始めています。将来を見通す出発季となりました。</li> </ul>	
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>①舟岡山未来プロジェクトにて、小さな荒廃した山の環境保全中(道づくりから)、継続</li> <li>②舟岡山 結プロジェクトにて、築173年の空き家棟を社会公共性の場として創造中</li> <li>③舟岡山・弘田川ラグーン研究会にて、この地の森・川・海のつながりを研究中</li> <li>④若者・移住前体験チャレンジの場(最長1年)を整備する企画を相関ある団体が作成中</li> </ul> <p>同一敷地内の空き家4棟のうち、3棟を関係人にて整備中です。ちいさな手(6歳児)から大きな手(103歳の大先輩)による地域主導かつ協働の自然体の運営を考えています。</p> <p>教育界にて、地域循環共生圏・ローカルSDGsを学んでいるこどもたちの姿をみて、幸運にも子ども時代に自然環境に自由に触れてきた私たち・この地の良さを知っている</p>	

世代として、今できることを模索しています。新展開は、令和5年1月末頃の②の古民家棟のオープニングから始まります。(まずは地域の草の根運動・啓蒙からです。)

活動日 令和3年 4月 1日～ 令和4年9月8日